

発刊日：平成27年1月

発行元：認知症疾患医療センター&認知症相談支援センター

協同で発行しています！

あけましておめでとうございます。今年は“未年”です。羊といえば、温厚な性格をイメージしますよね。羊のような穏やかさを忘れずに、今年も認知症の方やそのご家族の支援をさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

さて、今回のWITHでは、名古屋市認知症コールセンターで使用しているチェックリストをご紹介します。認知症は身近なひとの“気づき”から診断・治療に結びつくことが多くあります。日常生活の中で変化を感じた時には、このチェックリストをご活用いただけたらと思います。

裏面には「認知症コラム」と「認知症関係の行事予定」を掲載しています。是非ご覧ください！！

認知症の「早期発見」「早期対応」は身近なひとの“気づき”から

認知症の「早期発見」は、身近なひとの「あれっ？」という“気づき”から多くは始まります。

しかし、「歳だから…」「症状が軽く、困っていない…」「受診を勧めにくい…」などといった理由で、身近なひとの“気づき”が、「早期対応」に結びつかないことがあります。

コールセンターでは、身近なひとや本人が“気づき”をチェックできる18項目のリスト（右表）をセンターの「PRカード」に記載して市内の薬局や病院などに配布をしています。

「早期発見」とともに「早期対応」がなされるには、周囲の“気づき”がそのままにされず、適切な医療や福祉の専門機関に結びつくことが大切です。

認知症は病気です。だれでもなる可能性があります。「認知症かな？」と思われたら、一度、名古屋市認知症コールセンターや、かかりつけ医、いきいき支援センターなどに相談してみましょう。

認知症は早期発見・早期対応が大事です

1	同じことを言ったり聞いたりする。
2	置き忘れやしまい忘れが目立ってきた。
3	物の名前が出てこなくなった。
4	薬の管理ができなくなった。
5	以前はあった関心や興味が失われた。
6	だらしくなった。
7	日課をしなくなった。
8	時間や場所の感覚が不確かになった。
9	慣れたところで道に迷った。
10	財布などを盗まれたという。
11	ささいなことで怒りっぽくなった。
12	蛇口、ガス栓の閉め忘れ、火の用心ができなくなった。
13	複雑なテレビドラマが理解できない。
14	料理の手順が悪くなった。
15	機械の操作が覚えられない、使いこなせない、使い方を忘れる。
16	思考が遅くなった、判断力が落ちた。
17	夜中に急に起き出して騒いだ。
18	幻覚を見る。

（国立長寿医療研究センターもの忘れ外来で使われているチェックリストより）
このチェック項目はあくまでも目安です。認知症を診断するものではありませんが、気になるようなことがあれば、ぜひ一度相談ください。

「早期発見」「早期対応」をすすめるため、この「PRカード」が100枚入ったカードスタンドを、カウンターやレジなどに置いていただける機関・店舗などがございましたら、名古屋市認知症コールセンターまでご連絡ください（☎ 052-763-1332）。

問合先及び認知症に関する相談窓口

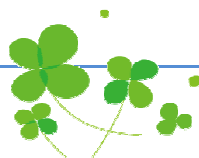
認知症コールセンター 認知症の症状や介護等に関する様々な相談
◆名古屋市認知症コールセンター ☎052-763-1332

認知症疾患医療センター 専門医療、鑑別診断と治療、急性期対応等に関する相談
◆名鉄病院 ☎052-551-2802 ◆まつかけシニアホスピタル ☎052-352-4165
◆守山荘病院 ☎052-795-3560



「認知症と“つながり”」

守山荘病院 臨床心理士 小野和海



認知症とは、脳の病気により記憶力や判断力などが低下することによって、日常生活に支障が出ている状態を言います。別の言い方をすると過去の出来事や現在の課題、そして未来の目標などと本人との“つながり”が途切れやすい状態とも言えるかもしれません。

症状がより進行した場合には、他の人と疎通をとることも困難となり、かつての姿との違いやその変わりように、関わる家族やスタッフも本来あったはずの“つながり”を見失いやすくなるように思います。

しかし、ふとしたことをきっかけに“つながり”を取り戻す瞬間があります。それは、かけられる言葉のみならず、風の匂いや食事の味、思い出の曲や写真、慣れ親しんだ人の声や温もりなど様々です。いずれも特別ではなく身近なものばかりですが、一人で体験することは難しいことが多いように思います。傍らに寄り添い、それらを共に体験し共有しようとする者がいるからこそ、「たしかに、この香りは…」、「たしかに、この写真は…」などと途切れかけた“つながり”を取り戻し、失いかけた自分自身を取り戻すことができるのではないのでしょうか？

このような取り組みには、何よりも家族やスタッフが傍らに寄り添い、様々なものを感じられる状態であるための心身のゆとりや余裕が必要となります。そのためには介護する側が負担などを一人で抱え込み、疲れ果て、潰れてしまうことのないように、様々な専門家や施設、提供されるサービスや支援などと“つながり”を持つことも大切であるかもしれません。

～ 認知症関係の行事予定 ～

◆2月9日(月) 13:30～15:30

守山区「認知症になっても安心して住み続けられるまちへ」～自分にできる支援とは～

【守山区在住の方を対象、1月14日9時～申込開始】

場所：守山保健所1階 多目的ルーム

内容：①「認知症の方やその家族への接し方について」講師：ウエルネス守山/作業療法士 有巢由希子氏

②交流会

③支援活動紹介

対象者：守山区内在住の方、認知症に関心のある方
定員：40名

(要事前申込：1月14日9時～申込開始)

問合先(申込先)：守山保健所Tel052-796-4625

◆2月14日(土) 13:30～15:45

熱田区「私の気持ちを聴いて～ご本人・ご家族の気持ち～」(講演会)

場所：熱田区役所7階 講堂

内容：◎講演①「認知症の方の気持ち」

講師：齊藤妙子氏(名古屋市認知症介護指導者)

◎講演②「介護のコツとご家族の気持ち」

講師：尾之内直美氏(認知症の人と家族の会 愛知県支部代表)

定員：350名(当日先着順)

問合先：熱田区いきいき支援センター
Tel052-671-3195

◆2月17日(火)

緑区「認知症ってなあに？」(啓発イベント)

【脳年齢チェックのみ事前予約要】

・企画①11:00～15:30 緑文化小劇場にて

◎劇団オレンジリングの認知症啓発の寸劇

◎講演「認知症を予防しよう～緑区で取り組む認知症予防～」講師：国立長寿医療研究センター 島田裕之先生(定員430名)

・企画②11:00～13:30 徳重地区会館にて

◎脳年齢・血管年齢チェック

(要事前申込：往復はがき1月30日必着。詳細はお問い合わせください)

◎認知症の治療、お薬相談コーナー。

◎回想法の紹介や体験

問合先：

緑区北部いきいき支援センターTel052-899-2002

緑区南部いきいき支援センターTel052-624-8343

◆3月1日(日) 13:00～16:00

(一部、10:00より開催)

西区「認知症も～やっこフェスティバル」

場所：西区役所

内容：今年度は回想法がテーマです。同朋大学社会福祉学部准教授下山先生の講演(「認知症予防としての回想法について学びましょう」)や、歌声ひろば、回想法キット展示、認知症チェックカフェ、成年後見あんしんセンターの相談コーナー等認知症に関する催しが盛りだくさんです。

問合先：西区役所福祉課Tel052-523-4596

